

みずほCustomer Desk Report 2025/09/10 号 (As of 2025/09/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	147.37 AUD/USD
TKY 9:00AM	147.38	1.1768	173.32	1.3553	0.6597
SYD-NY High	147.53	1.1780	173.48	1.3591	0.6619
SYD-NY Low	146.32	1.1704	172.15	1.3518	0.6583
NY 5:00 PM	147.43	1.1709	172.62	1.3526	0.6586

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,711.34	196.39	日本2年債	0.8300%	0.0100%
NASDAQ	21,879.49	80.79	日本10年債	1.5600%	▲0.0100%
S&P	6,512.61	17.46	米国2年債	3.5543%	0.0669%
日経平均	43,459.29	▲ 184.52	米国5年債	3.6119%	0.0518%
TOPIX	3,122.12	▲ 16.08	米国10年債	4.0847%	0.0458%
シカゴ日経先物	43,395.00	▲ 485.00	独10年債	2.6637%	0.0251%
ロンドンFT	9,242.53	21.09	英10年債	4.6210%	0.0190%
DAX	23,718.45	▲ 88.68	豪10年債	4.2740%	▲0.0140%
ハンセン指数	25,938.13	304.22	USDJPY 1M Vol	9.97%	0.13%
上海総合	3,807.29	▲ 19.55	USDJPY 3M Vol	9.75%	0.03%
NY金	3,682.20	4.8	USDJPY 6M Vol	9.65%	▲0.02%
WTI	62.63	0.37	USDJPY 1M 25RR	▲0.94%	Yen Call Over
CRB指数	300.14	0.73	EURJPY 3M Vol	8.10%	0.03%
ドルインデックス	97.79	0.33	EURJPY 6M Vol	8.40%	▲0.06%

東京	東京時間のドル円は147.38レベルでオープン。序盤は目新しい材料が無い中で方向感に欠ける展開となり、147円台前半で揉みあった。その後は取引時間中の史上最高値を更新した日経平均が、利益確定の売りなどから下落に転じたことで、ドル円も一時147円台を割り込んだのち、小幅に値を戻し147.01レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.01レベルでオープン。日銀は政治混迷でも年内利上げ排除しないという旨のヘッドラインに反応し、146.32円まで売られる。その後調整し、結局146.73レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に米労働省が発表した雇用統計年次改定が下方修正された事を受け、発表後は146.52まで下落する。しかし、その後は米金利の上昇や、米株の堅調な展開を受け反発し、147.20付近まで戻す。午後ドル買いの流れが続くが、終盤にかけては147.47まで上値を伸ばし、その後147.43レベルでクローズ。一方、ユーロはフランス政局の先行きの不透明さが依然根強い事や、米金利の上昇に伴った買いが重しとなり、1.1720付近まで下落する軟調な推移。午後は1.1704まで値を下げ、その後1.1709レベルでクローズ。

国際為替部 為替営業第二チーム

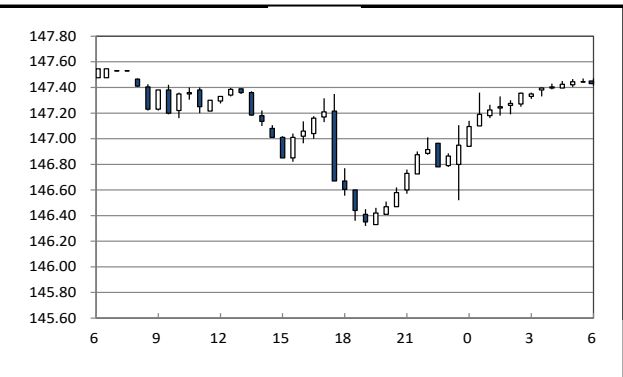
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月9日	09:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	9月 95.4	-
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -1.1%/1.3%	-1.4%/0.7%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	7月 -1.7%/1.5%	-1.2%/-
	23:00	米 雇用統計年次ベンチマーク改定(24/4-25/3分)	-911K	-682K

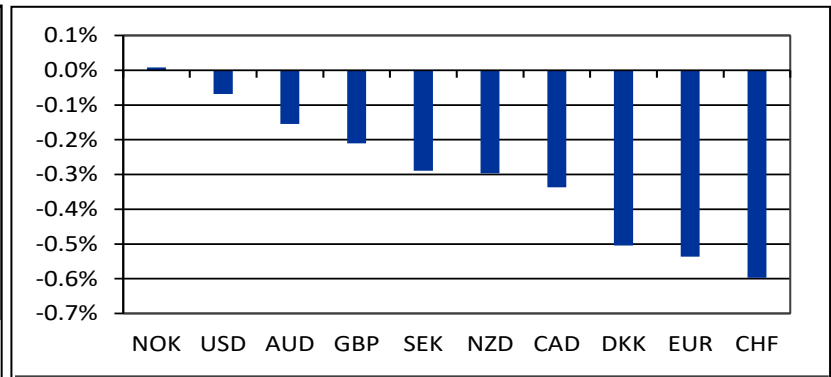
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月10日	10:30	中 PPI(前年比)	8月 -2.9%	-3.6%
	10:30	中 CPI(前年比)	8月 -0.2%	0.0%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/3.3%	0.9%/3.3%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	7月 0.2%	0.3%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 0.2%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-148.00	1.1700-1.1800	172.00-173.50

【マーケット・インプレッション】

--昨日のドル/円相場は1日を通じて下に行って来いの動き。東京時間は新規取引材料に欠ける中で147円台前半で推移していたが、海外時間序盤に「政治混迷でも日銀は年内利上げを排除せず」とのヘッドラインが伝わると146.32円まで下落。その後は米金利がカーブ全体で上昇する動きに合わせてドル/円は反発し、再び147円台前半で取引された。
米国金融政策の動向に注目が集まっている中、雇用が減速していることは確認済みであり、物価指標への関心が高まっている状況。斯かる中で本日は米8月生産者物価指数の発表が予定されている。関税影響もあるため根強い物価上昇が想定されるが、そういった環境でも市場予想対比で弱い結果となった場合は利下げサポート要因となり、ドル/円には下押し圧力がかかりやすくなるものと予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。